

# 特別展 国立能楽堂コレクション 描かれた能 — 絵で楽しむ、文様が語る —

平成21年12月19日(土)～2月14日(日) 細見美術館



能楽図屏風

600年以上の歴史と伝統を持つ日本最古の歌舞劇「能」と「狂言」。

2008年に開館25周年を迎えた国立能楽堂は、ユネスコの「世界無形遺産」にも認定されている能楽の公演、振興、演能者の育成、さらには資料の収集・展示など様々な活動を行う一大研究機関として知られています。

本展では、国立能楽堂が所蔵する能楽にまつわる絵画、装束、面、また舞台美術[作り物]などさまざまな美術工芸品を通して、舞台とは一味違う能楽の世界をご紹介します。屏風や画帖に描かれた演能の様子、また装束や面で学ぶストーリーなど、作品が語る能と狂言の魅力をこの機会にお楽しみ下さい。

主催: 細見美術館

後援(予定): 京都府教育委員会・京都市教育委員会  
京都市内博物館施設連絡協議会・NHK京都放送局

特別協力: 独立行政法人日本芸術文化振興会

会期: 平成21年12月19日(土)～2月14日(日)

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜)  
年末年始 12月28日(月)～1月1日(金)

開館時間: 午前10時～午後6時(入館は5時30分まで)

入館料: 一般1000円(800円) 学生800円(600円)  
※( )内は20名以上の団体料金

会場: 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

Tel / 075-752-5555

お問合せ先: 広報担当 三宅 由紀

Tel / 075-752-5555 Fax / 075-752-5955  
E-mail / kouhou@emuseum.or.jp  
http://www.emuseum.or.jp



翁扇 蓬萊山図



紺紅段花入龜甲繁桐内板模様厚板

HOSOMI MUSEUM 木